

気持ちをひとつに



5月20、21日の2日間にわたって、『第3回常陸国YOSAKOI祭り（YOSAKOI茨城大会）』が日立、大子、袋田、常陸大宮の会場で開催されました。

この祭りは、県北地域の振興対策として、人づくり、地域作り、共生の社会作りをめざし、茨城県初の民間主催のYOSAKOI祭りとして企画されたもので、祭りには茨城県をはじめ、栃木、福島、東京、



千葉などから62チームが出場。また、招待チームとして石狩流星海（北海道）と関西京都今村組（京都府）が出場し、各チームとも個性溢れるパフォーマンスを披露しました。

祭り2日目の21日は、常陸大宮市の会場となった西部総合公園体育館を舞台に、県内外から参加した43チーム、約2,000人の踊り子達が、華麗で迫力ある踊りを披露し、会場からは大きな拍手が贈られました。

鮮やかに咲く芝桜

五月晴れとなったゴールデンウィーク、緒川地域内の小舟地区に芝桜が色とりどりに咲きそろいました。この芝桜は、使っていない畑が荒れてしまうのを防ぐために植えているそうです。

写真は、小舟地区の内田達也さんの畑の芝桜の様子。



広報 常陸大宮 6月 第21号

発行日 平成18年6月15日

編集・発行

常陸大宮市総務部情報政策課

〒319-2292

茨城県常陸大宮市中富町3135-6

☎ 0295(52) 1111 FAX 0295(53) 6010

E-mail email@city.hitachimiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachimiya.lg.jp/

□広報常陸大宮は、ホームページでも
ご覧になれます。

赤ちゃんの健やかな健康を祈って



▲植樹者代表の大金雅弥くんとそのご家族

5月13日、高部の国有林で赤ちゃん誕生記念植樹が行われ、全国約12,000通の応募者から選ばれた3,500人分のスギ・ヒノキが植えられました。

主催は、育児を中心にサポートするピジョン(株)。育児と育樹が相通じるものとの考えから毎年開催されているもので、今年で20回目を迎えました。

当日は、あいにくの雨でしたが、関東在住の当選者の中から招待された約50組の家族のほか、第1回から5年ごとの節目に植樹をされた方々も参加し、赤ちゃんの健やかな成長を祈っていました。

常陸大宮市の人口（5月1日現在・推計常住者）

総人口47,558人（男23,180人、女24,378人）
世帯数16,119世帯

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています